

諏訪湖内の流況調査業務

環境部水大気環境課

1 目的

諏訪湖における貧酸素水塊の発生メカニズムの解明に向けた基礎データを収集するために、流向流速計を用いて諏訪湖内の水の流れを把握するとともに、諏訪湖上の風向風速等を調査して湖上の気象状況を把握し、湖上の気象状況が湖水の流動に与える影響について考察を行う。

2 業務内容

(1) 流向流速等の測定

諏訪湖内の水の流れを把握するとともに、風向風速の測定等により諏訪湖上の気象状況を把握する。測定地点は、諏訪湖の特性を踏まえ、湖内の流動及び諏訪湖上の気象状況を的確に捉えられる地点とし、かつ、測定期間は貧酸素水塊の発生時期を含む期間とする。

(2) 気象状況が湖水の流動に与える影響の考察

(1)の測定結果や既存の論文等をもとに、湖上の気象状況が湖水の流動に与える影響について考察を行う。

○流向流速の測定

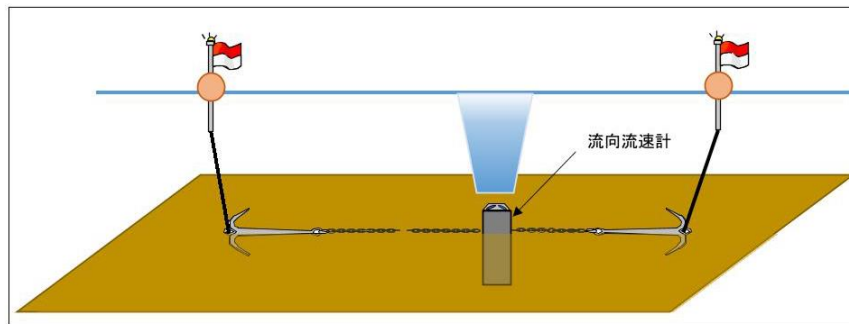
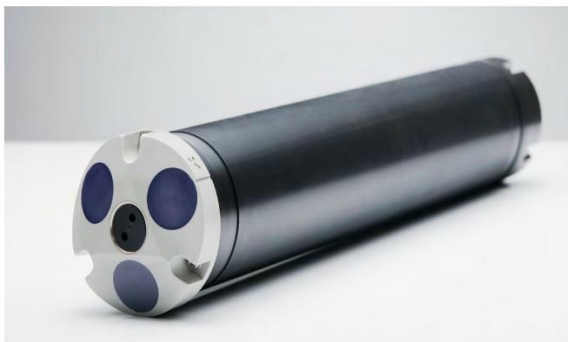


図1 流向流速計の設置イメージ



流向流速計（直径 7.5cm、長さ 46.3cm）



流向流速計設置の例

○風向風速の測定

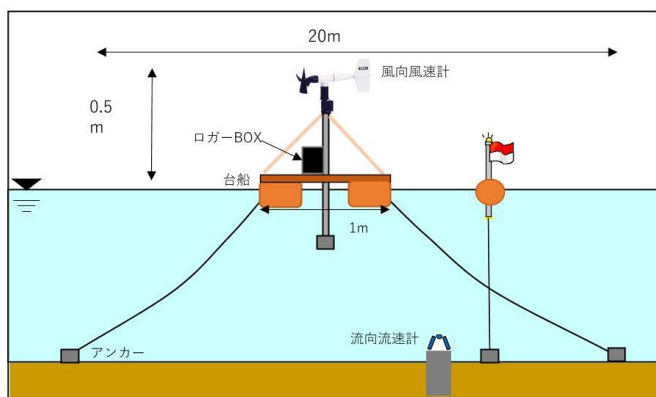


図2 風向風速計の外観、設置イメージ（湖心）

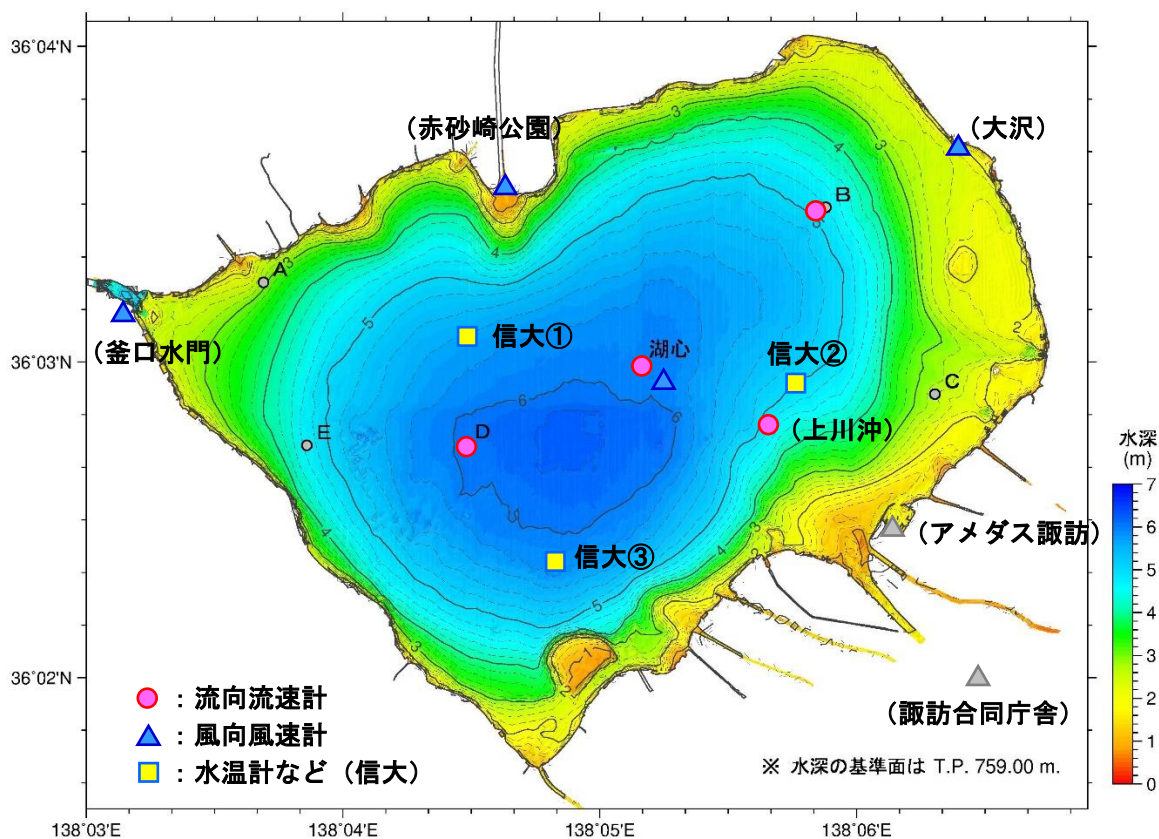


図3 流向流速計及び風向風速計による測定地点

<測定項目>

湖心：流向流速及び風向風速 地点B・D・上川沖：流向流速
釜口水門・赤砂崎公園・大沢：風向風速（陸上）
信大①・②：水温 信大③：水温、湖底の溶存酸素